

2024年度 社会鍋募金 実績報告

収入

歳末社会鍋募金 (東京地区)	5,402,248円
通年社会鍋募金	3,328,292円
災害救援国際資金 (能登半島地震)	13,000,000円
活動準備金より	2,291,600円

収入合計 **24,022,140円**

皆様のご協力により、
これらの活動が支えられています。

支出

緊急災害 (能登半島地震含む) 救援	16,019,183円
街頭生活者支援	5,121,510円
児童・母子支援	1,501,045円
受刑者・更生保護支援	687,321円
女性保護支援・ 保護家庭支援	61,190円
募金費用	631,891円

支出合計 **24,022,140円**

なぜ鍋で募金を行っているのですか？

これは、1909年、アメリカの救世軍で行われていたスープ壺をぶら下げて募金をするスタイルを日本風にアレンジしたものです。当時、貧しくお正月の準備もできない家庭に食べ物を届けるための募金でした。その後、寄付金はさまざまな支援活動に使われるようになりましたが、この三脚に鍋をぶら下げるスタイルは変わることなく、今日も誰かの心と体をあたためるために街頭に立っています。

社会鍋 募金 2025年度 活動報告

感謝の便り



日本の救世軍は2025年で
130周年を迎えました。



救世軍本営

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-17
Tel 03-3237-0881
Fax 03-3237-3588
<https://www.salvationarmy.or.jp>



つなげよう！たすけあいのネットワーク

2024年度の社会鍋資金による支援活動の例

児童・母子支援



困難な経済状況のなか、日々の生活を助けるために、子ども食堂を続けています。

街頭生活者支援

街頭での生活を余儀なくされている方々に、生活必需品や食事の提供を行っています。



能登半島地震被災者への支援

被災された方々からニーズをお伺いし、「お腹を満たし、ホッとさせてくれる温かい物」をお届けしました。元の落ち着いた生活に戻るため、継続的に支援を行いました。また、江戸時代から続く輪島塗の文化を守るため、二度と手に入らない貴重な道具や塗料を瓦礫と化した蔵から取り出しました。これにより輪島塗の制作を諦めずに済んだ方々がいらっしゃいました。

動画
輪島塗救出



世界134の国で神の愛を伝える救世軍



救世軍は、世界134の国で活動するプロテスタントのキリスト教会で、国際本部はロンドンにあります。1865年ウィリアム・ブースと妻カサリンによって創立され、東ロンドンのスラム街で、困難な状況にある人々を助けつつ神様の愛を伝えてきました。日本では1895年に働きが始まり、現在40の教会、1つの病院、17の社会福祉施設を運営しています。キリスト教の精神で、個人の尊重・健やかな生活を祈りつつ活動しています。



どこでもその場で募金ができる
オンライン社会鍋

オンラインでも社会鍋募金ができます。
右のQRコードを読み取るか、救世軍HPよりアクセスしてください。

